

美術科【第2学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1 各学年・各分野の学習目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を迫り、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 指導内容および評価規準

(1) 「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。
10	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。		
11	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。		
12	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。		

(2) 「目的や機能などを考えた表現」

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。
5			
7	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	
1	- 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 - 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機能やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	

(3)「作品や美術文化などの鑑賞」

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
11	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
2		- 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 - 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	